

<p>駅西ブロック 第37回ブロック部会 議事要旨</p>	
開催日時	平成30年10月24日(水) 午後8時～9時40分
開催場所	上十条区民センター「上十条ふれあい館」第1ホール
出席者	<p>【部会役員】阿部部会長(十条仲原一丁目会長)                  石原副部会長(十条富士見銀座商店街理事長)                  染谷役員(上十条二丁目町会長)                  保坂役員代理 原次長(東京家政大学総務部)</p> <p>【事務局】十条まちづくり担当課:石本課長、井越、徳田、木下、山崎、鈴木                  連続立体交差事業担当:市川副参事                  コンサルタント(都市計画同人):立野、海老原</p> <p>【オブザーバー】十条駅西口再開発組合事務局:鈴木事務局長、菊池                  株式会社トーニチコンサルタント:岡田、望月、本村、河合</p>
参加者	6名(部会役員を除く)
議題等	<p>議題</p> <p>○新たな駅前広場について</p> <p>報告事項</p> <p>○地震に関する地域危険度測定調査(第8回)について</p> <div data-bbox="443 1368 1291 1899" data-label="Image"> </div> <p>【第37回駅西ブロック部会の様子】</p>

## 議事要旨

### ——駅西ブロック部会長あいさつ——

本日の部会では、昨年に引き続きまして、駅前広場について、グループ形式での意見交換を行いたいと思います。本日は、十条駅西口再開発組合事務局の方々がいらっしゃっているので、皆さんには十条駅前をどのようにしたいかを話し合っていたいただきたいと思います。また、事務局からは、地震に関する地域危険度測定調査に関する報告があります。

なお、限られた時間ですので、スムーズな進行にご協力ください。宜しくお願いします。

## ○議題

### ——新たな駅前広場について——

■ トーニチコンサルタントから、十条駅前広場について、以下のような説明がありました。

1. 前回までのおさらいと意見の整理
2. 前回からの変更点
  - ・ 車道幅員を縮小し、歩道を拡大した
  - ・ 駐輪場階段を駅舎側に寄せることで、にぎわい空間を拡大した
  - ・ 商店街入口部分の歩道を切り下げ構造として、歩道空間の一体性を向上させた
3. 駐輪場のレイアウトと主要な設備
4. 今後検討していく内容
  - ・ にぎわいの創出について（他地区事例紹介）
  - ・ 防災機能について
  - ・ 児童遊園の廃止に伴う樹木の移植
  - ・ シェルター屋根素材の検討
  - ・ 植栽について
  - ・ 歩道舗装について

以上の説明をうけた後、今回の部会では、2つのグループに分かれて、6つの「今後検討していく内容」について、自由に意見交換を行いました。

■意見交換

2つのグループから出た、「今後検討していく内容」に関する意見を以下に掲載します。

◆A班における主な意見

▽にぎわいの創出について

- ・前回の議事録を見てもらえればわかるが、イベントは 365 日のうちの 1 回だけのことだ。どんなイベントをやりたいかではなく、毎日にぎわうようにしたい
- ・人を呼び込める空間にしたい
- ・必ず盆踊りは継続したい
- ・駅前イベントに使える空間があるなら家政大で使うことも考えてみたい

▽防災機能について

- ・災害時にこの駅前広場をどう使うのかがわかっていないのに、防災機能が必要かどうかを考えるのか。災害時の駅前広場の使い方を決める方が先だ
- ・町会としては一旦駅前に集合し、家政大、中央公園に避難するというとも考えられるので、大勢の人が集まる場所として、トイレがあるということは良いと思う
- ・避難場所に避難する中間点でトイレや煮炊きをすると、ここが避難場所なのかと迷う人が出るだろう。本来の避難方法の邪魔にならないか
- ・ここは、帰宅困難者や、どこに避難したら良いかわからない人たちに向けての情報発信拠点になるのではないか
- ・避難場所にするわけではないだろう
- ・こういった防災施設は、どこの駅でも標準的に作るものなのか、教えてもらいたい
- ・マンホールトイレを作ったら、災害時に区の人や町会の人に来て設置してくれるのか。作るだけではダメで、作るならきちんと使えるように運用する体制も整える必要がある
- ・こういった施設は広場をつくる時には作れるが、後から整備することは難しいだろうから、作っておいて運用できなければ使わないということでも良いのではないか

▽児童公園の廃止に伴う樹木の移植

- ・木を切らずに駐輪場の設計を変えれば良いのではないか
- ・切るしかないのなら仕方ない
- ・あの木に詳しい人、こだわりがある人に考えてもらった方が良いのではないか
- ・あの木に詳しい人が伐採に納得して、記念にベンチ等に活用したいということであればそれで良いのではないか

▽シェルター屋根素材の検討

- ・災害時や台風で倒れない強度であって欲しい
- ・建物との関係によると思うので、シェルターだけでは決められない
- ・シェルターの下が明るくなる膜屋根が良い

▽植栽について

- ・トータルデザインがないと、植栽だけ決めてもつぎはぎになってしまう
- ・樹木の高さ、間隔、にぎわいのコアとの関係等図面だけではよくわからない
- ・植栽でにぎわいのコアが分断されてしまうので、にぎわいのコアを広くとった方が良い
- ・交通島のシンボルツリーに桜があったら良い

▽歩道舗装パターン

- ・にぎわい等のトータルコンセプトがないと考えにくい
- ・格子状のデザインが良い

◆B班における主な意見

▽にぎわいの創出について

特に意見なし

▽防災機能について

- ・高層マンションが出来るだけでも、駅前には避難者であふれてしまう

▽児童公園の廃止に伴う樹木の移植

- ・半年から1年養生すれば、移植できるはず

▽シェルター屋根素材の検討

特に意見なし

▽植栽について

- ・日影になる上、風による影響もある

▽歩道舗装パターン

- ・インターロッキングは目地の段差があるので良くない

▼その他

- ・駅前広場の中央にタクシープールはいらないし、そもそもタクシー乗場自体はいらない
- ・駐輪場の出入口と十条銀座商店街の出入口が近いため、事故が起こるのではないか

**○報告事項**

——地震に関する地域危険度測定調査（第8回）の概要について——

■コンサルタントから、配布資料に沿って、第8回地震に関する地域危険度測定調査の概要について、説明がありました。

■質問事項

(参加者) 火災危険度については、東京消防庁が出している火災危険度を流用しているが、その中で災害時の活動危険度を入れていながら更に活動危険度を入れる事で、危険度を下げているのではないか。

(コンサル) 東京都の調査結果のため、ご意見として東京都に伝えます。

——駅西ブロック部副会長あいさつ——

色々なご意見をいただきましたが、本日はこれにて閉会とさせていただきます。

次回は、来年の2月に詳しい話が聞けるかと思えます。その際にもご出席の程、宜しくお願いします。

本日はありがとうございました。